

令和7年度
事業計画書

通所介護

勝原デイ・サービスセンター

法人理念

「いたわりと思いやり」

「地域福祉の拠点として」

1. 事業の内容

事業の指定	(介護予防) 通所介護
事業の名称	勝原デイ・サービスセンター
指定番号	2874000967
施設の所在地	〒671-1201 姫路市勝原区下太田 573 TEL 079-273-1311 / FAX 079-273-4321
事業開始	平成元年 10 月 1 日
管理者	管理者 濱下隆史
利用定員	25 人/日
通常の実施地域	姫路市(勝原区・大津区・網干区・広畑区・余部区・青山・太市) 太子町
営業日	月曜日～土曜日(9:00～17:45)
サービス提供時間	9:15～16:30

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	利用者個々の状態を把握し、趣味活動を交えた機能訓練を行い、住み慣れた自宅で現存機能を活かした生活を図っていくことで、稼働率 60%以上を目指す。
理 由	支援を受けながらも身体機能を維持し、楽しみやいきがいを持ち、意欲的な生活につながるように利用者や家族、担当介護支援専門員と話し合い、趣味・創作活動や日常生活を継続するための機能訓練に取り組むため。 また、支援内容や関わりが利用者一人ひとりにとって、意欲の向上や日々の生活行為につながっているかどうかを担当職員間でPDCAサイクルのもと、協議・検討し、改善した取り組みを実行していくことで、各職員のスキルアップに加え、サービスの質の向上を図り、利用者のモチベーションの向上につなげたいため。
具体的対応策	1. 自宅での生活を意識し、趣味・創作活動に加え、外出など野外活動や散策公園で散歩など日常生活を意識した運動を行う。

具体的対応策	2. 担当者会議や職員間で意見交換をしつつ、利用者が保有している潜在能力を把握し、利用者や家族、関係者間で能力を活かせる活動や機能訓練を考え、実施する。 3. モチベーションの向上を図るため、利用者や家族に年 2 回アンケートを実施するとともに支援内容の評価を行い、より個々の状態に応じた活動に改善し、実施する。
--------	--

3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、一人ひとりの利用者が、安全で快適な利用がかなうように次の人員を配置する。

職 種	常 勤	非常勤		パート		外国人		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算	人数	換算
管 理 者	1							1	1.0
生 活 相 談 員	1							1	1.0
機能訓練指導員				1	0.4			1	0.4
看 護 職 員				2	1.2			2	1.2
介 護 員		1	1.0	3	2.5			4	3.5
運 転 手				2	0.6			2	0.6
合 計	2	1	1.0	8	4.7			11	7.7

※ 管理者は介護員を兼務

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
認知症委員会	認知症介護に関する理解を深め、傾聴や受容した対応など日々の支援の中で活かせるように各職員の意識の向上とスキルアップを図る。	月 1 回開催 【施設内研修】 5 月
栄養委員会	食中毒に加え、災害など非常時の備蓄食品の取り扱い方、保管場所、調理設備や食器等、必要な備えについて、全職員で情報を共有し、共通認識を図る。	月 1 回開催 【施設内研修】 6 月
感染・衛生委員会	業務継続計画に沿って、感染症予防のマニュアル（コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等）の見直しと各職員への対応策の周知徹底を図るための施設内研修を実施する。	月 1 回開催 【施設内研修】 11 月

委員会名	活 動 目 標	活動回数
医療的ケア安全対策委員会	褥瘡予防、感染症予防と発症時の対応等、多職種との連携向上を図る為の検証を行い、利用者の健康で安全な生活をサポートすることを目的とする。	月 1 回開催 【施設内研修】 12 月
リスク管理委員会	事故報告書の集計・管理を行い、事故の原因を追究し、事故防止につなげる。ヒヤリ・ハット報告書のマニュアルを作成し、各職員に周知徹底を図る。	月 1 回開催 【施設内研修】 9 月・3 月
安全対策委員会	毎月、避難訓練及び緊急時（応急処置、地震、水害、不審者対応等）の対策について周知徹底を図るとともに随時、マニュアルを見直し、全職員に周知徹底を図る。	月 1 回開催 避難訓練毎月 【施設内研修】 7 月・1 月
介護向上・ICT委員会	ICT も含め、介護現場における生産性の向上に資する取組の促進を図る観点から、現場における課題を抽出及び分析した上で、状況に応じて、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討する。	月 1 回開催 【施設内研修】 10 月
虐待防止・身体拘束適正化委員会	利用者の安全と人権擁護の観点から、適正な支援が実施され、利用者の自立と社会参加のための支援を妨げることのないよう、定期的に又は適時、委員会を開催し、虐待・身体拘束の予防に努めることを目的とする。	月 1 回開催 【施設内研修】 8 月・2 月
レクリエーション委員会	利用者個々が活発、かつ、楽しめるレクリエーション活動を企画し、実施後の評価を行う。また、職員のレクリエーション活動や年間行事に対するモチベーションの向上を図る。	各種行事、日常 余暇活動に必要な都度随時

5. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みのある習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行 事 内 容	内容
4 月	①お花見	①近隣にドライブに出かけ、花見を楽しむ。
5 月	①下太田花祭り	①地域行事として、催される釈迦の誕生を祝う祭りを見学する。
6 月	①ドライブ外出（あじさい観賞）	①ドライブに出かけ、あじさいを観賞し、散策する。
7 月	①七夕会	①笹飾りを楽しみ、展示する。
8 月	①納涼大会	①夏祭りとして、縁日を意識したイベントを実施する。

月	行 事 内 容	内 容
9 月	①寿会	①米寿と白寿の利用者の祝いを中心に、全利用者の長寿を祝い、茶話会等を催す。
10 月	①ドライブ外出（コスモス畑見学）	①ドライブに出かけ、コスモス畑を觀賞し散策する。（御津方面）
11 月	①やながせ文化祭	①法人内各事業所の利用者が創作した作品を展示した会場まで見学に出かける。
12 月	①クリスマス会	①クリスマスイベントを行う。
1 月	①初詣（吉備神社・魚吹八幡神社） ②書初め	①神社へ初詣（参拝）に出かける。 ②新年の書初めを行う。
2 月	①節分（豆まき）	①節分の豆まきを行う。
3 月	①ドライブ外出（梅林見学）	①ドライブに出かけ、梅の花を觀賞する。
毎月	①園だよりの発行	①施設での活動内容や取り組み等を毎月 1 回広報誌として発行する。

6. 施設の安全対策

一人ひとりの利用者にとって、より安全な利用を図るため、防災意識を高め、有事に備えて、次の災害への対策を実施する。

月	訓 練 種 目	内 容
4 月	防災設備訓練	防災に関する設備の使用方法的訓練
6 月	自然災害対応訓練	風水害時の対応手順の確認
7 月	消防訓練（日中体制）	日中体制での避難誘導の流れの確認
9 月	地域防災訓練	地震を想定した、地域との連携訓練
12 月	A E D ・心肺蘇生の研修	緊急時の心肺蘇生及び A E D 使用方法についての訓練
1 月	消防訓練（日中体制）	日中体制での避難誘導の流れの確認
3 月	消防設備点検（網干消防署立会）	消防署立会による消防設備の確認

7. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4 月	倫理及び法令遵守、個人情報保護に関する研修	全職員	理事長・施設長・事務長
5 月	認知症に関する研修	全職員	認知症委員会
6 月	食中毒予防、災害食に関する研修	全職員	栄養委員会
7 月	災害・安全対策に関する研修	介護職員	安全対策委員会
8 月	身体拘束・虐待予防に関する研修	全職員	虐待防止・身体拘束適正化委員会
9 月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会
10 月	介護技術に関する研修	介護職員	介護向上・ICT委員会
11 月	感染症対策に関する研修	全職員	感染・衛生委員会
12 月	褥瘡予防等医療的ケア安全対策研修	介護職員	医療的ケア安全対策委員会
1 月	災害・安全対策に関する研修	介護職員	安全対策委員会
2 月	身体拘束・虐待予防に関する研修	全職員	虐待防止・身体拘束適正化委員会
3 月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会

※ 新任職員入職時には、理念、法令遵守、リスクマネジメント、感染症予防対策、各専門職種からの留意事項などの研修を行う。

※ 新任職員は、やながせ福祉会で行う合同新任職員研修に参加する。

8. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、事業所としての水準の底上げを図るため、それぞれに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
法人全体	・「持ち込まない」「広めない」「持ち帰らない」感染症対策について	感染症対策研修
法人全体	・大雨、洪水、高潮など自然災害時の対応について	災害対策研修

対 象	研 修 内 容	研 修 名
法人全体	・ 人権意識、倫理観について	人権擁護研修
法人全体	・ 福祉、介護の専門職として、持つべきマナーなどについて	接遇研修
法人全体	・ 健康管理について	産業医研修
管理者	・ 衛生管理について	人事・労務管理研修
中堅職員研	・ リーダーの役割、業務改善、課題達成提案、コーチングについて	マネジメントリーダー研修
介護職員	・ 喀痰吸引、経管栄養の実施手順と留意点について	介護技術向上研修